



農家118名が、平成28年2月5日開催の「地下かんがい普及推進セミナー」に参加

- 石狩振興局（農務課・普及センター・調整課・整備課）では、農家戸数の減少や高齢化などの対策として、農作業の省力化などを図るため、暗渠排水の集中管理孔を活用した地下かんがいの普及推進に向け取り組んでいます。
- 本年度は、昨年に引き続き、先進的な取り組みを行っている地域を訪問する現地研修会の開催、モデルほ場による試験研究、利用者へのアンケート調査などを実施しています。これらの成果を発表し、農家の方への理解と意識の向上を図るため、石狩振興局が「地下かんがい普及推進セミナー」を平成28年2月5日（金）に、当別町にある田西会館にて開催し、118名の農家に参加されました。

セミナー開催の会場撮影写真



「地下かんがい普及推進セミナー」開催実施概要



地下かんがいの必要性やこれまでの経過等について挨拶
【石狩振興局 足立部長】



地下かんがいシステムの効用について講演
【中央農業試験場 塚本主査】



パネラーから各取組の報告があり、パネルディスカッション開始
【コーディネーター 石狩振興局 尾山主幹】



本年度の取組状況やアンケート調査結果を報告
【石狩振興局 赤坂主幹】



ほ場での給水試験や地下水調査実施結果報告【北海道農業近代化技術研究センター 高木氏】



地下かんがいが、小麦の収量・品質に及ぼす効果報告
【普及センター 柴田係長】



水稻直播栽培の収量・品質に関する報告
【普及センター 小林係長】



モデルほ場の提供者である谷口氏より、春まき小麦で利用してみた感想、貴重な意見を報告



モデルほ場の提供者である藤永氏より、水田直播で利用してみた感想、貴重な意見を報告



パネラーによる討議や、モデルほ場の提供者である谷口氏や藤永氏の貴重な意見に、真剣に耳を傾ける出席農家

■ セミナーを終えて：

- セミナー当日は農家118名が参加され、会場は、ほぼ満席状態。なぜ、今、地下かんがいが必要か、地下かんがいを進める必要性などについて、石狩振興局 足立部長の挨拶から始まり、中央農業試験場 塚本主査からは最新の知見に基づいた情報提供、そして、パネルディスカッションでは本年度の活動状況や試験結果報告のほか、モデルほ場の提供をして頂いた谷口氏や藤永氏からも利用した感想や貴重な意見の報告など、参加された農家は真剣に耳を傾け、内容の濃い地下かんがい普及推進に向けたセミナーとなりました。

